

### 埼玉県特集

#### 下水道事業管理者

栗生田 邦夫氏



埼玉の流域下水道は事業着手から50年が経過し、施設の改築や維持修繕に毎年多額の費用が必要となつていく。その一方で、人口減少などによる業務量（処理水量）の減少が見込まれている。そこで、ストックマネジメント手法を導入した計画的な施設の改築や包括的民間委託の導入拡大など

#### 安定的経営と環境への貢献

による効率的な管理運営に努めるとともに、流域関連市町の公共下水道と農業集落排水の接続や単独公共下水道の汚泥の共同処理に取り組むなど経営基盤を強化していく。また、下水汚泥を利用したバイオガス発電や、水処理の高度処理化を進め、環境負荷の低減にも貢献する。これらと併せて、平成30年度までに一部箇所を除き耐震対策を完了させるなど下水道施設・設備の強靱化を進めていく。

#### 県土整備部長

西成 秀幸氏



県土整備部では、三つの基本目標のもとに各種施策を展開する。第一に「災害に備える強靱な県土づくり」として、「激甚化する水害に対応する治水対策」や「土砂災害から人命・財産を守る対策」、「橋りょうの計画的な点検・整備」など、第一に「生活の質を高める持続

#### 安全安心な暮らしを守る

可能な県土づくり」として、「駅周辺の安全で快適な歩行者・自転車通行空間整備」や「交通事故を減少させ渋滞を緩和する交差点整備」、「通学児童等の安全を実現する歩道整備」など、第三に「地域資源を活かして成長する県土づくり」として「威力倍増！幹線道路ネットワークの整備」や「魅力UP！時間の見えるインターアクセス道路整備」、「川の国埼玉はつつプロジェクトの推進」などに取り組む。

#### 保健医療部長

本多 麻夫氏



急速な高齢化の進展や少子化に伴い本県の医療を取り巻く環境は大きく変化している。人材確保や経済面でのコストなど医療をめぐる環境は非常に厳しく、社会資源を効果的に調整・活用し、県民に必要な質の高い医療を提供していく必要がある。

#### 質の高い医療目指して

救急医療、周産期医療、在宅医療、難病医療などさまざまな課題がある中で、将来に向けて質の高い医療従事者を十分に確保・育成し、必要な分野で活躍していただける流れをつくり出していくことが特に重要と考える。県総合医局機構や奨学金制度等を有効に活用し、関係各位のご協力を得ながら、質の高い医療の確保に向け、医療人材の確保・支援や広域的な調整にしっかりと取り組んでいきたい。

#### 危機管理防災部長

槍田 義之氏



首都直下地震の発生が危惧され、また、昨年8月の台風9号、10号のように気象災害も局所化、激甚化の傾向にある。これら災害に立ち向かうには、地域防災力の強化が不可欠である。県では、地域住民からなる自主防災組織の育成や消防団の充実に努めてきた。

#### 地域防災力の強化に向けて

今年度は、特に自主防災組織の活性化と女性・学生消防団員の加入促進に力を入れていく。また、災害時には、民間企業なども含め「オール埼玉」で対処することが重要である。このため、平時から物流事業者など一顔の見える関係）を築くとともに、関係機関が災害情報を迅速に共有化できる体制の構築を目指していく。

#### 埼玉県産業振興公社理事長

織田 秀明氏



「中小企業の未来を創造する信頼のパートナー」を理念に掲げる当公社では、企業の現場を重視し、そのニーズを的確に捉えた支援策を展開している。中小企業の立場に立つて経営革新などさまざまな相談に応じるとともに、女性の創業支援や海外を含めた販路開拓、ロボット分野な

#### 中小企業の「稼ぐ力」を支援

と先端産業の推進や次世代自動車分野への参入支援など、幅広い分野にわたり支援を行っている。2017年度は、新たな中期経営計画の下、会社の総合力を発揮してワンストップで中小企業の経営力の向上を図っていく。また、先端産業創造プロジェクトや新たな成長が期待できる産業の育成、県内中小企業の海外へのビジネス展開を強力に支援し、引き続き本県産業の活性化を推進していく。

#### 都市整備部長

野川 達哉氏



「個性と魅力ある元気な都市づくり」、「住みやすく人と環境にやさしい都市づくり」、「誰もが安心して暮らせる都市づくり」の三つの基本目標を掲げている。ラゲリーワールドカップ2019に向けた熊谷グランドフィールドの整備をはじめ、2020年の東京オリンピックに向けた埼玉スタジアム

#### 元気で安全なまちづくり

2002のおもてなし向上や、さいたまスーパーアリーナ・けやきひろばの魅力アップを図る。多子世帯に対して子育てしやすい新築住宅取得を支援するなど「埼玉住まい」を推進する。首都直下地震等の発生時に火災による被害が想定されることなど、県民の生命や財産を守るため住宅密集地における燃えにくいまちづくりを推進する。

#### 産業労働部長

渡辺 充氏



生産年齢人口が減少する中、社会の活力を維持し、高めていくには、本県産業の「稼ぐ力」を高める必要がある。そこで県内の中小企業・小規模事業者の生産性を高めるため、経営革新、海外展開等を支援する。さらに「先端産業創造プロジェクト」の加速、企業誘致の推

#### 産業と雇用の好循環目指す

進により成長可能性の高い分野の産業の育成・集積を図る。また、誰もが働く意欲や希望に応じて活躍できるように、「働くシニア」を支援し、企業におけるシニアの「働く場」の拡大、シニアへの就業支援に取り組む。加えて非正規雇用の正社員化や埼玉版ウーマンミックスプロジェクト等を推進する。こうした取り組みを進めることにより、産業と雇用の好循環を目指す。

#### 環境部長

宍戸 信敏氏



自立したエネルギー利用を実現するため、スマートハウスなどにより、エネルギーの地産地消を推進する。また、水素社会の実現に向けた取り組みとして、燃料電池自動車や業務産業用燃料電池の普及を重点に推進する。エコタウンプロジェクトでは、既存住宅の創エネと

#### 環境に優しい社会づくり

省エネによるスマートハウス化を推進するとともに、民間事業者と協働したビジネスモデルの普及を図る。地球温暖化対策・ヒートアイランド対策として、目標設定型排出量削減度の推進や中小工場のゼロエネルギーハウス建築への支援を行う。さらに環境負荷の少ない循環型社会の担い手である産業廃棄物処理業者とともに、今後、大量廃棄が予想される太陽光パネルの処理技術の研究を進める。

#### 埼玉県産業技術総合センター長

中村 雅範氏



県内ものづくり中小企業のパートナーとして、技術力や生産性の向上並びに競争力の高い製品開発を支援し「稼ぐ力」を向上させる。中小企業の生産性向上や新サービス創出のためのIoT（モノのインターネット）の導入を推進し、収益力の向上を支援する。また、自社製品の開発を目指す中小

#### 中小企業の生産性向上支援

企業の「売れる製品化」を支援するため、デザイン面の支援体制を強化する。さらに、成長が期待される健康市場に向け、高付加価値な機能性食品の開発を支援する体制を強化する。マグネシウム蓄電池をはじめとする次世代産業分野は研究開発を一層加速し、早期の事業化支援を目指す。当センターのリソースを環境変化に適応して配分し、効率的な運営を推進す

#### 公営企業管理者

立川 吉朗氏



企業局では、水道用水の供給や工業用水の給水、産業団地整備などの事業を展開している。水道は、県民生活や産業を支える基幹的なライフラインであることから、災害などの非常時においても安定供給ができるよう、施設の耐震化や停電対策に集中的に取り組んでいる。ま

#### 「安心」と「成長」を促進

た、将来の水需要の減少に対応するため、浄水場の施設の更新時には、適正な規模へのダウンサイジングを行う。産業団地については、現在3地区で整備を進めている。また、企業の立地ニーズにこたえるため、熱意ある市町村と連携しながら、新規地区の事業化にも積極的に取り組んでいる。こうした取り組みをスピーディーに進めることで、県民生活の安心と県内産業のさらなる成長を促進していく。

#### 農林部長

篠崎 豊氏



農林部では農林業・農山村の持続的発展を図るため5年間に取組むべき施策を取りまとめた「埼玉農林業・農山村振興ビジョン」を策定し農林業の「稼ぐ力」、農林業に関わる「人財力」、農山村の地域力・高まる「稼ぐ力」を高める取り組みを進めている。「稼ぐ力」を高める取り組みに

#### 儲かる農林業 実現

るオーダーメイド型産地の育成、抹茶などへの二番茶の活用、米の特A評価の獲得に向けた技術開発などに取り組む。「人財力」を高める取り組みでは優れた経営感覚を備えた人材の育成や農業経営の法人化などを進める。「地域力」を高める取り組みは観光農園の経営力・集客力の向上、森の若返りと森林の循環利用を促進するなど、ビジョンの将来像の実現に諸施策に全力で取り組み、儲かる農林業を実現する。

#### 福祉部長

田島 浩氏



新3か年計画では埼玉県が目指す将来像として「希望と安心」を掲げている。この理念を踏まえ福祉行政を進めていきたい。少子化対策・子育て支援では、子供を生み育てる希望がかなえられるよう保育所や認定こども園などの整備を進めるとともに、多子世帯の育児負担軽減のため

#### 希望と安心の社会づくり

子育てサービスを利用できるクーポンの配布を開始する。高齢者施策では、介護が必要になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、引き続き市町村とともに地域包括ケアシステムの構築を進める。さらに発達障害児・者への支援を一層進めるため今年1月に開設した発達障害総合支援センターを拠点に人材育成や親への支援などを行う。この取り組みにより誰もが未来に希望を持てる社会を築く。

**専用工作機械の製作はお任せください。**  
創業49年1,000台の技術と実績で「量産品加工機」「特殊品加工機」のニーズにお応えします。

製作実績一例

ATC付きセンターリングマシン 門型マシニングセンタ ドリル・タップセンタ ローラーギャカム研削盤

正社員募集中 - 新卒・中途社員を随時募集しております。詳細はお問い合わせ下さい

**H 株式会社ヒガシ** 埼玉県鴻巣市東 1-4-8 〒365-0039  
TEL:048(541)3060 FAX:048(542)1959 <http://www.higashi-co.com/>

**そのお菓子づくりを、もっと美味しく、新しく。 MASDAC 60th**

高い生産能力、使いやすく、優れた安全性 システムデポリー エボリューションII

連続加熱で品質向上・生産性アップ・省エネ効果 トンネルオープン

超低温二次蒸気、ひっくり返しよく蒸しあげる ファインアップ スチーマー

選べる充実のラインナップ どちら焼機

株式会社マスタック 本社・工場 / 〒359-1147 埼玉県所沢市小手指元町1-27-20 ☎04-2948-0161 [URL] <http://www.masdac.co.jp> [E-mail] [info@masdac.co.jp](mailto:info@masdac.co.jp)

FOOMA JAPAN 2017 6/13⑨-16⑩ 東京ビッグサイト (当社ブース) 東4ホール 4W-01

公益財団法人 埼玉県産業振興公社

**埼玉の経営者は、すでに頼れる切り札を持っている。**

よろず支援拠点とは、中小企業・小規模事業者の活性化を図るため、地域の支援機関と連携しながら、売上拡大や経営改善、事業承継、IT活用など経営課題に対応するワンストップ相談窓口です。

**埼玉県よろず支援拠点**

安心感 満足度 課題解決力に 自信があります

相談は何度でも **無料**

**埼玉県よろず支援拠点**  
〒330-8669 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5 ソニックシティビル10階  
TEL 0120-973-248 FAX048-645-3286

**座金組込みねじ**

■組立作業の省力化と薄板の締付に偉力発揮!!

ビタックねじ

0.1mmの薄板でもピッタリ締まります。

良いねじを受注 短納期で受注

〈構造と特長〉

- 面なしリングゲージでもピッタリと完全に締付けが可能。
- 座金下のねじし部に逃げ溝がある

・2点及び3点セット・各サイズ受注生産

上記商品はサンコーインダストリー(株)からもご購入できます。

**株式会社 ゴトウネジ**  
〒340-0811 埼玉県八潮市大字二丁目470  
電話 (048)996-9021(代) FAX (048)995-6975

お客様の要望を「カタチにして」実現する  
ニーズに合わせたモノづくり

設計から製作まで一貫生産で  
防災機器、省力化自動設備、電装品・制御盤の設計・製作

**株式会社ミック** ISO 9001/14001 認証取得済み  
〒350-1203 埼玉県日高市旭ヶ丘672-1  
TEL:042-985-4466 FAX:042-985-4477  
<http://www.mic-co.net>

**確かな技術で、静かな世界戦略。**  
精密金属スプリング製造

夕かハイスプリング タイランド(海外生産拠点)

**株式会社 高橋スプリング**  
〒334-0051 埼玉県越谷市七左町5-153  
TEL:048-985-0341 FAX:048-985-0457  
<http://www.ts-g.co.jp/>